

藤沢市新総合計画基本計画

地域まちづくり計画



「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち
「湘南ふじさわ」

新総合計画 基本計画 地域まちづくり計画

片瀬地区	121
鵜沼地区	133
辻堂地区	145
村岡地区	159
藤沢地区	173
明治地区	185
善行地区	197
湘南大庭地区	209
六会地区	223
湘南台地区	233
遠藤地区	251
長後地区	261
御所見地区	277

【役割の担い手】の表記について

役割の担い手は、「めざそう値」実現に向けた、取り組む主体の多様性を示すもので、2010年(平成22年)8月21日から9月3日にかけて実施した「めざそう値」調査の項目として調査しました。計1,367件の5段階評価(役割は、大きい、やや大きい、やや小さい、小さい、ない)の回答を集計後、各主体毎の割合を求めたものです。それぞれの割合は、責任の大きさではなく、実現に向け行動する主体としての期待を示しています。

「まちづくり計画」では、紙面とページ数の点から、凡例により表示します。

【凡例】 市民等：市民（個人・家庭） 市民団体等：市民団体（含市民ボランティア）・NPO
地域団体等：地域団体（自治会・町内会等） 企業等：企業等（民間企業・財団法人等）
子育て機関等：子育て機関（学校・幼稚園・保育園等） 行政：行政 その他：その他

新総合計画基本計画

片瀬地区 地域まちづくり計画

都市ビジョン.1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

7.お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

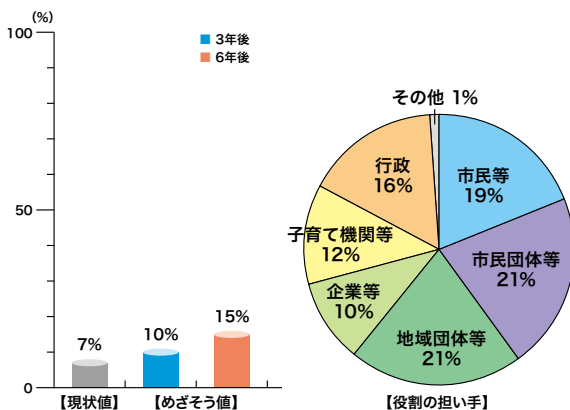
地域まちづくり目標 01.みんなにやさしい 思いやりのまち片瀬

目標の背景・方向性

片瀬・江の島では様々な地域活動が積極的に行われていますが、新たな活動者の参加は多くなく、一部の地域市民の負担が大きくなっている状況があります。まちづくりには、私たち地域市民の多くが片瀬・江の島の海のような広く大きな心で、世代を超えて手を取り合って歩んで行くことが大切です。

成果指標

地域活動に参加したことがある人の割合



地域まちづくり活動

活動 1 みんなが知っている、参加している、連携している地域活動の推進

【成果の視点】地域活動が活発で、助け合うまちづくりがなされていること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

14.学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

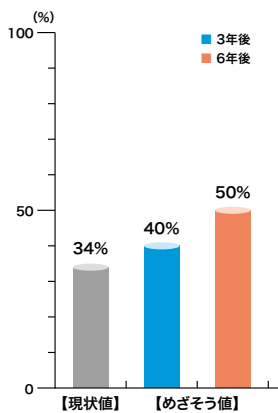
地域まちづくり目標 02.つなげよう!学校・家庭・地域の輪

目標の背景・方向性

核家族化や働きながら子育てをする家庭の増加など家庭での子育ての環境は大きく変化してきています。一方、片瀬・江の島には子育て経験の豊かな人も多く存在します。「明日を担う子ども達は地域の宝」です。こども達の健やかな成長のため、地域全体で見守り、支え、育む体制が重要です。

成果指標

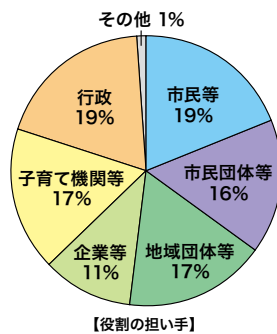
地域が子育てに積極的に関わっていると感じている市民の割合



地域まちづくり活動

活動 2 子ども達を見守り、育む地域づくりの推進

【成果の視点】学校・家庭・地域が連携して子どもを見守り、育む活動をしていること



藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療(介護)・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

18.災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

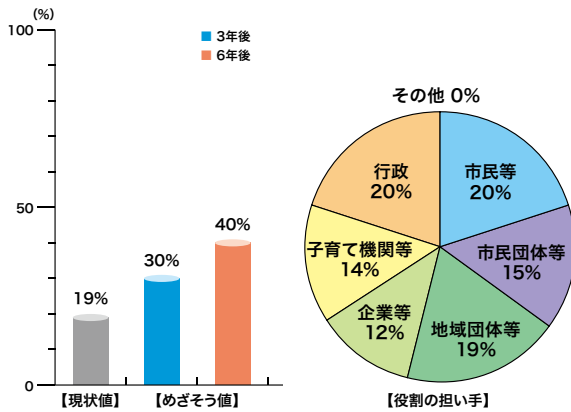
地域まちづくり目標 03.地域力最大 被害最小 災害に負けないまち片瀬

目標の背景・方向性

阪神・淡路大震災では、自力脱出困難者の77%が近隣住民によって救出されています。特に海と山と川に囲まれた片瀬・江の島は自然災害によるリスクが大きい地域であると言えます。災害被害の軽減には、都市基盤の整備が重要であると共に、地域力を結集した自主的な準備や防災活動が重要です。

成果指標

災害対策がしっかりとできていると感じている人の割合



地域まちづくり活動

活動 3 災害にも安全なまちづくりの推進

【成果の視点】災害に安全な環境づくりがされていること

活動 4 地域力による災害対策の推進

【成果の視点】地域で防災活動などの対策が進められていること

ふじさわ未来課題

23.福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

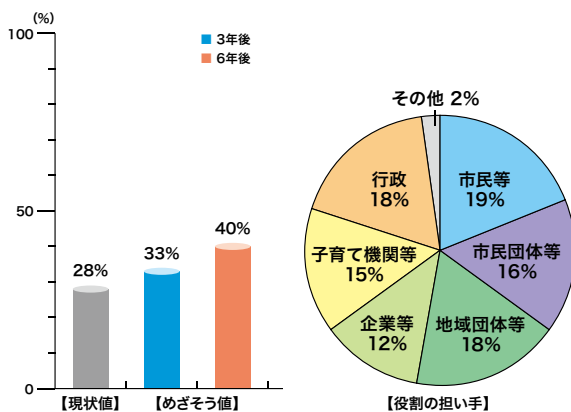
地域まちづくり目標 04.みんなで支え、みんなで守る片瀬の暮らし

目標の背景・方向性

片瀬・江の島は市内で最も高齢者の割合が多く少子高齢化を象徴するまちです。身近な日々の暮らしの場に存在する多様な生活・福祉課題に地域全体で取り組み、個では負えない問題を地域で支え合い、「誰もが孤立することなく心豊かにすごせる」まちをめざします。

成果指標

地域に支えられて暮らしていると実感している人の割合



地域まちづくり活動

活動 5 地域で支え合う福祉活動の推進

【成果の視点】地域に必要な福祉的な活動が行われていること

活動 6 活動の場、安らぎの場があるまちづくりの推進

【成果の視点】地域に福祉活動の拠点やいつでも集える場等が整っていること

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

19.治安の良い環境であること

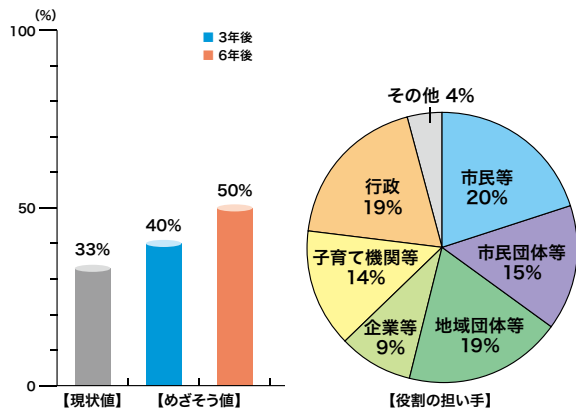
地域まちづくり目標 05.お年寄りも安心!子どもも安全!住みよい片瀬

目標の背景・方向性

地域の防犯パトロールの実施など様々な防犯活動によって犯罪件数は減少してきました。しかし、空き巣やひったくり、自動車・自転車盗、子どもに対するいたずらなどが後を絶ちません。また、観光地としての防犯・交通の課題も見られます。小さな地域力を結集して大きく強力な地域力を築き、犯罪が入り込めない・交通事故のない安心・安全なまちづくりを進めます。

成果指標

安心安全なまちと感じている人の割合



地域まちづくり活動

活動 7 犯罪のない安心なまちづくりの推進

【成果の視点】犯罪が少なくなっていくこと

活動 8 交通事故のない安全なまちづくりの推進

【成果の視点】交通事故の危険がないまちづくりが進められていること



都市ビジョン.2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

34.地域で支え合い暮らせる環境であること

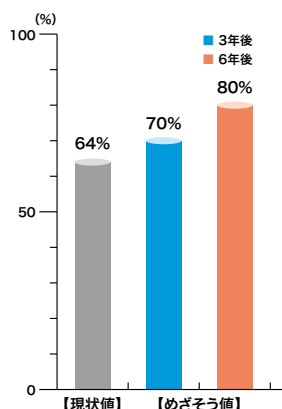
地域まちづくり目標 06.えがおで暮らそう!明るい片瀬

目標の背景・方向性

三世代で片瀬・江の島に住み続けている家庭がある一方、マンション建設等によって新しく地域の一員となる家庭も増えています。また少子高齢化等によって単身世帯の増加も進んでいます。新旧・世代を超えて挨拶・交流にあふれ、まち全体のコミュニケーションが豊かであることが片瀬・江の島のまちづくりの基本となります。

成果指標

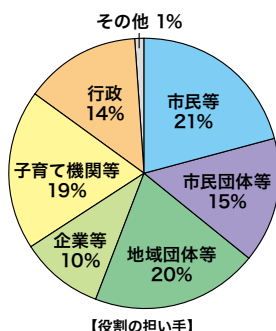
日常の挨拶ができていると思う人の割合



地域まちづくり活動

活動 9 世代を超えたコミュニケーションとふれあいのあるまちづくりの推進

【成果の視点】地域に挨拶があふれ、世代を超えたふれあいがあること



藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

〈④ 熟慮と根拠ある未来戦略を〉

ふじさわ未来課題

40.地域にある様々な地域資源*1が活かされていること

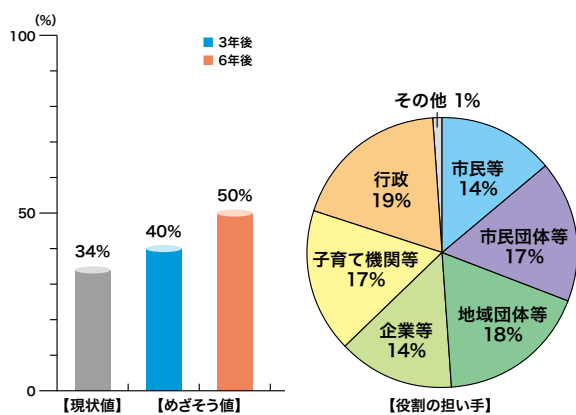
地域まちづくり目標 07.活かそう!守ろう!つなげよう!片瀬の資源

目標の背景・方向性

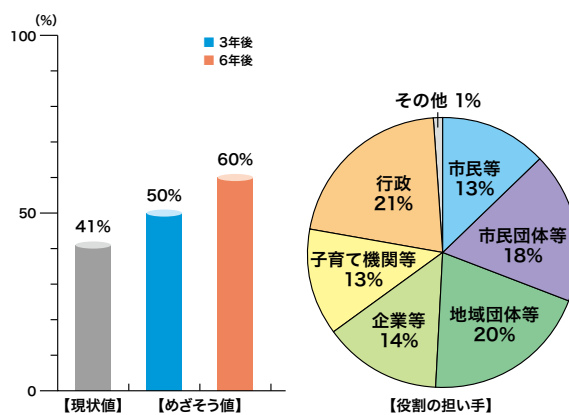
片瀬・江の島は文化財などがまちの中に豊富に存在する歴史と文化のまちです。また、湘南の海に開かれた水と緑の自然環境にも恵まれた地域です。この地域の宝を地域全体で理解し、愛し、守り育み、次世代に継承して行きます。

成果指標

歴史などの地域資源が活かされていると思う人の割合



自然などの地域資源が活かされていると思う人の割合



地域まちづくり活動

活動 10 地域の歴史・文化や伝統行事を発展、継承するまちづくりの推進

【成果の視点】地域の歴史や文化が発展・継承される対策がされていること

活動 11 地域の自然や緑を守り、つなげるまちづくりの推進

【成果の視点】地域の自然が守られる対策がなされていること

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげていくことをめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

49.人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

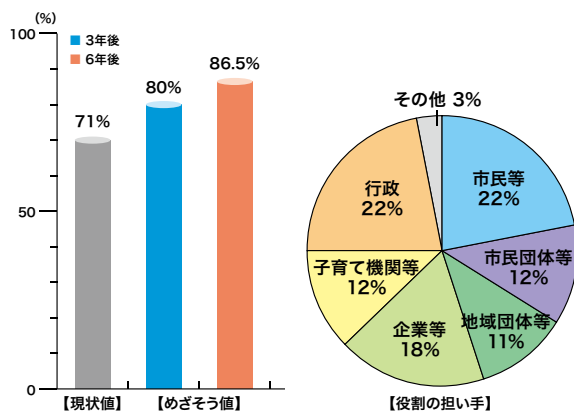
地域まちづくり目標 08.キレイがいちばん!片瀬のまち

目標の背景・方向性

私たちは湘南の海の玄関口、片瀬・江の島を、常にキレイにするよう心がけています。また、片瀬と鵜沼地区は県のレジ袋削減推進モデル地域にも指定されています。生活者にも、観光客にも、そして将来の子ども達にも快適な環境をつなげて行けるよう循環型のまちづくりを進めていきます。

成果指標

日常生活の中で、循環型社会の実現に向けた行動を実践している市民の割合



地域まちづくり活動

活動 12 地球環境保全につながる地域環境活動の推進

【成果の視点】地域や地球の環境を考えた生活や活動をしていること



都市ビジョン.3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

57.すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

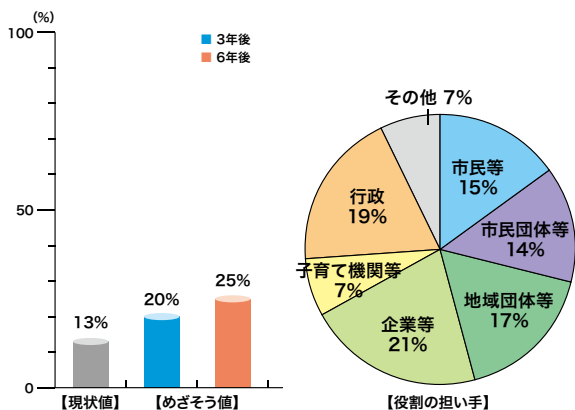
地域まちづくり目標 09.やさしい!うれしい!たのしい!片瀬のまち

目標の背景・方向性

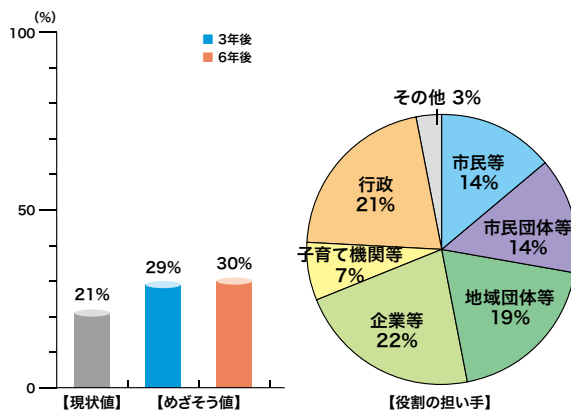
江戸期から信仰と景勝の地として親しまれてきた片瀬・江の島は、歴史と自然を活かした景観づくりやにぎわいを創出してきました。片瀬・江の島の商店街や漁港などがさらに魅力あふれるものに発展することは、地域が楽しく、元気になることでもあります。

成果指標

地域の商業に元気があると感じている市民の割合



地域の農水産業に元気があると感じている市民の割合



地域まちづくり活動

活動 13 商店街や漁港と共に進める地域の活性化

【成果の視点】片瀬の商店や漁港が発展し、地域が元気であること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

71.多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

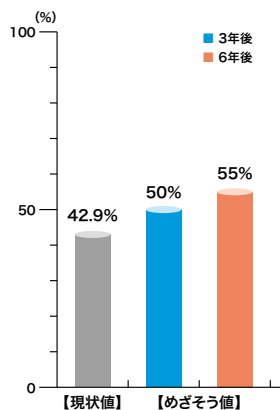
地域まちづくり目標 10.利用しよう!片瀬にあるいろいろなサービス

目標の背景・方向性

個人や地域のニーズが多種、多様化していますが、市税の減収や公的施設などの老朽化は進んでいます。また、地域の公的施設などは多目的には利用しづらい状況があります。行政と市民、民間企業等が連携・役割分担し、限られた財源や土地・建物等の地域資源を効率的、効果的に活用できるよう検討し、地域のニーズへの対応を図ります。

成果指標

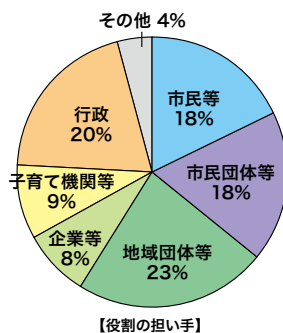
地区内公共施設の利用率



地域まちづくり活動

活動 14 地域の公共資産の有効活用等の推進

【成果の視点】地域の公共資産が地域ニーズに合った利用がされ、市民主体の事業が行われていること



〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

67.移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

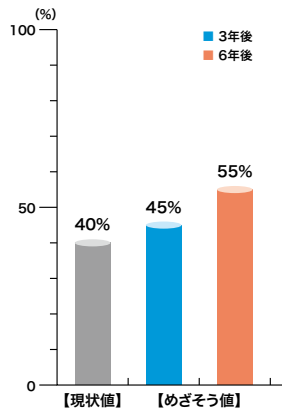
地域まちづくり目標 11.でかけよう!安全安心 片瀬のまちへ

目標の背景・方向性

高齢化が進む片瀬・江の島は、坂道や狭隘道路も多く、外出に不安や不便を感じている方が少なからずいると思われます。駅舎、道路、建物などのバリアフリー化や公共交通の機能強化など、子どもから高齢者まで誰にでもやさしいまちづくりを進めます。

成果指標

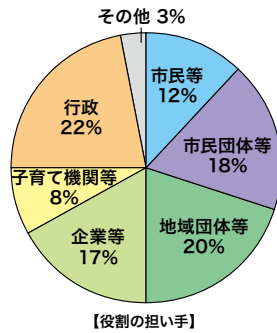
移動や利用に不便を感じていない市民の割合



地域まちづくり活動

活動 15 誰でも、安心して移動できるまちづくりの推進

【成果の視点】子どもから高齢者まで、誰でも外出し易い環境が整っていること



藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活(「藤沢ライフスタイル」)や創造的な湘南の文化(「湘南カルチャー」)の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

73.活気があり、開放的で温かいまちであること

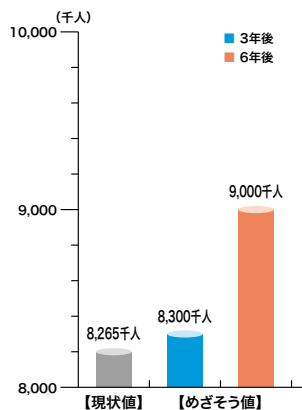
地域まちづくり目標 12.世界へ発信!湘南の魅力

目標の背景・方向性

江戸期の浮世絵にも多く描かれ、文化交流の場であった江の島や片瀬の海岸は、現在も湘南の環境やブランドを象徴する地域と言えます。この魅力をさらに伸ばし、広く世界に発信して、多くの人々が交流できるまちづくりを進めます。

成果指標

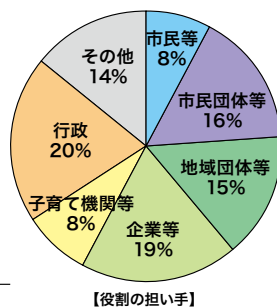
片瀬・江の島を訪れる人数(海水浴客を除く)



地域まちづくり活動

活動 16 湘南の魅力を世界に発信するまちづくりの推進

【成果の視点】湘南の魅力にあふれ、世界の人々が交流するまちであること



新総合計画基本計画

鵜沼地区 地域まちづくり計画

都市ビジョン.1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

7.お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

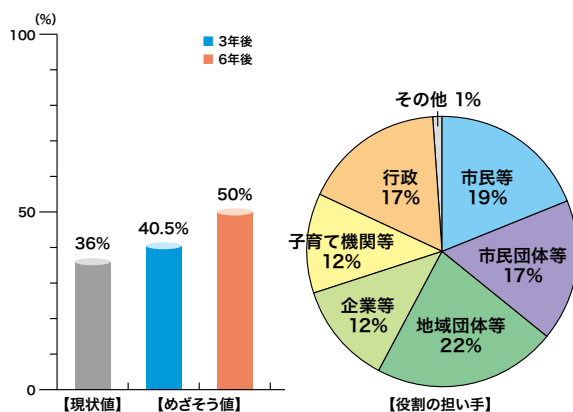
地域まちづくり目標 01.地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して地域活動を進めるまち

目標の背景・方向性

鶴沼地区の強みである市民力を活かし、地域活動を担う人材を育成するとともに、参画機会の提供を図ることで、地域活動の充実と人が輝く鶴沼のまちをめざします。

成果指標

地域活動に参加している人の割合



地域まちづくり活動

活動 1 地域活動の充実と人材の育成

【成果の視点】ボランティアの人数が増えたと感じられること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

14.学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

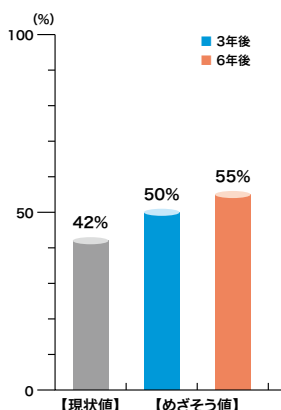
地域まちづくり目標 02.学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち

目標の背景・方向性

次世代の担い手となる子どもたちは、鶴沼地区の宝です。学校・家庭・地域がスクラムを組み、豊かな鶴沼の環境の中で子どもたちが安心してのびのびと遊び、学び、成長するまちをめざします。

成果指標

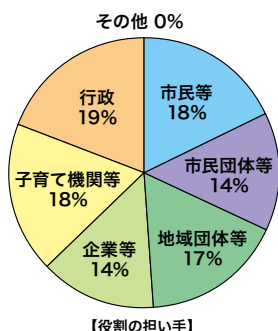
鶴沼が子どもにとって良い環境であると感じている人の割合



地域まちづくり活動

活動 2 オール鶴沼で子どもを育てる

【成果の視点】子どもたちが地域で大切にされていること



藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療(介護)・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

17.保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

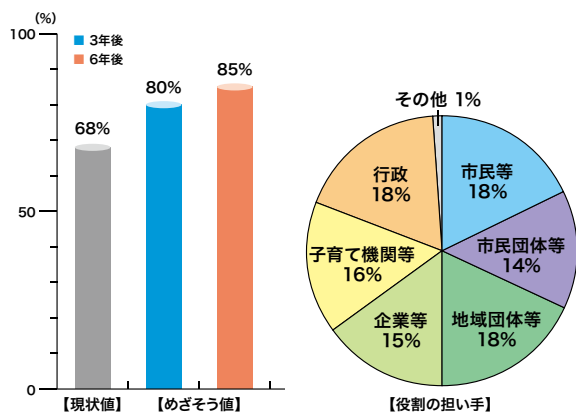
地域まちづくり目標 03.高齢者が生き生きとすごせるまち

目標の背景・方向性

高齢化が進む鶴沼では、高齢者が地域で見守られ、健康で生き生きと生活ができ、安心して暮らせるまちをめざします。

成果指標

鵜沼の地で一生すごしたいと感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 3 高齢者を取り巻く環境の向上

【成果の視点】高齢者が地域で大切にされていること

ふじさわ未来課題

18.災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

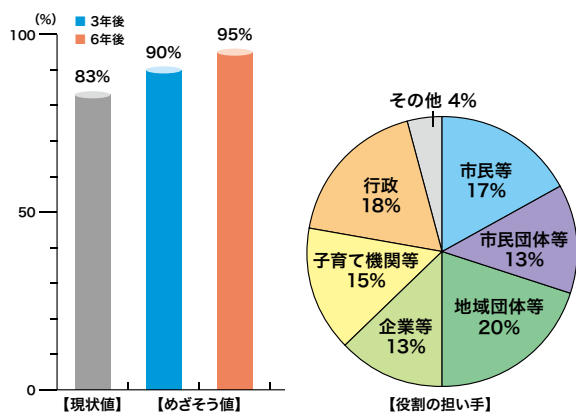
地域まちづくり目標 04.市民力、地域力で災害に強いまち

目標の背景・方向性

鵜沼地区は、東西を川に挟まれ、南に海岸を有することから、地震の際には、特に津波などの被害が想定されます。防災活動の積極的な啓発により、防災組織の充実を図るなど、災害に強いまちをめざします。

成果指標

自主防災組織の結成率



地域まちづくり活動

活動 4 防災活動の充実

【成果の視点】防災活動に参加している人が多いこと

ふじさわ未来課題

19.治安の良い環境であること

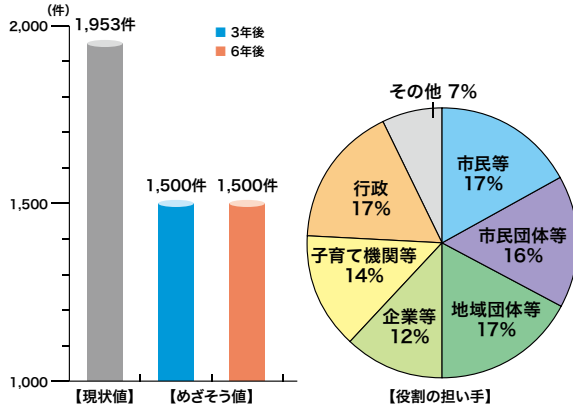
地域まちづくり目標 05.市民力、地域力で犯罪ゼロのまち

目標の背景・方向性

鵜沼地区は、自転車盗などをはじめ、犯罪発生率の高い地区です。地域の力で、小さな犯罪も見逃さず未然に防ぐことが重要です。防犯意識を高め、犯罪ゼロの安全安心なまちをめざします。

成果指標

犯罪件数



地域まちづくり活動

活動 5 防犯活動の充実

【成果の視点】防犯活動に参加している人が多いこと

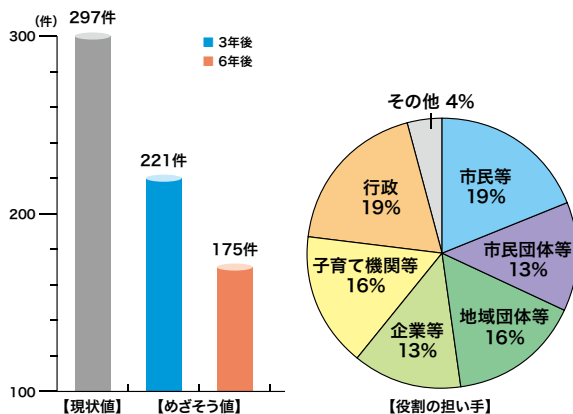
地域まちづくり目標 06.交通事故のない安全安心のまち

目標の背景・方向性

鵜沼地区は、交通量の多い藤沢駅南口をはじめ、縦に国道467号線、海岸線に国道134号線を抱え、交通事故の危険性の高い地域です。一人ひとりが、交通安全に対する高い意識を持つことにより、交通事故のない安全安心のまちをめざします。

成果指標

交通事故の件数



地域まちづくり活動

活動 6 交通安全対策の充実

【成果の視点】ヒヤリ・ハットを感じない住民が多いこと



都市ビジョン.2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

31.社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

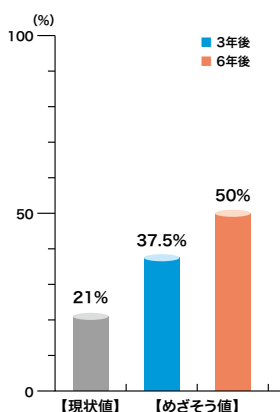
地域まちづくり目標 07.地域住民の間で交流が盛んで、支え合うまち

目標の背景・方向性

鵜沼地区には、いろいろな方が生活しています。様々な地域住民が、活発に交流を行い、支え合い、誰もが快適に過ごせるまちをめざします。

成果指標

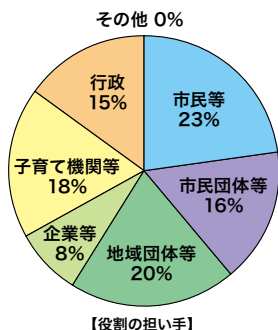
住民同士の交流が盛んであると感じている人の割合



地域まちづくり活動

活動 7 地区内交流活動の充実

【成果の視点】地区内で交流活動をしている人が多くいること



藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

39.身近にある緑が適切に保全されていること

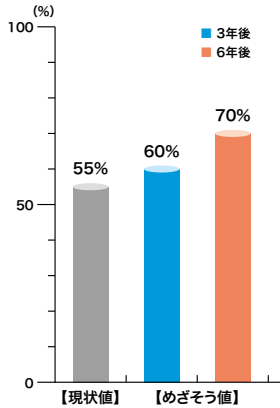
地域まちづくり目標 08.景観が守られ、緑が保全されているまち

目標の背景・方向性

鵜沼の緑と景観は、次世代に継承すべき大切な地域資源*1です。地域住民と関係機関の創意と工夫により、景観が守られ、緑が良好に保全されているまちをめざします。

成果指標

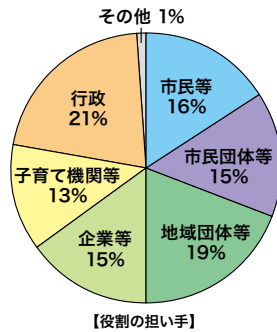
緑が豊かと感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 8 景観と緑の保全の推進

【成果の視点】鵜沼の緑と景観が守られていること



*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

46.生活の便利さと環境保全の両方が実現していること

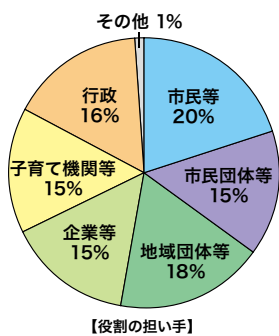
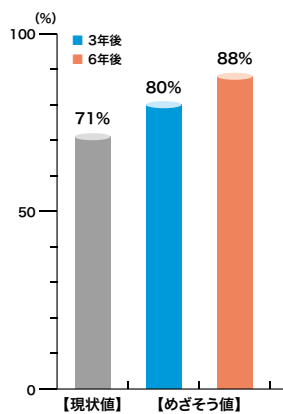
地域まちづくり目標 09.豊かな自然(海、川、緑)の中で憩えるまち

目標の背景・方向性

豊かな自然を守るため、地球規模での課題である地球温暖化対策に取り組むとともに、すべての人にとっての憩いの場所であり、鵜沼の地域資源であるきれいな海、きれいな川、そして緑が良好に保全されているまちをめざします。

成果指標

環境保全活動に参加している人の割合



地域まちづくり活動

活動 9 環境保全活動の充実

【成果の視点】憩える場所が多くあること



都市ビジョン.3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

59.安全で安心な食べ物が身近で得られること

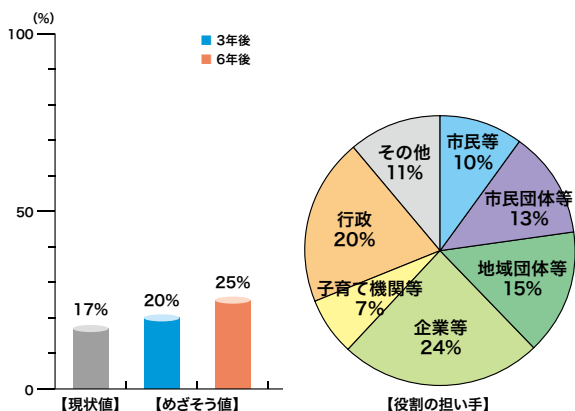
地域まちづくり目標 10.魅力あふれる元気な商店街が多いまち

目標の背景・方向性

鵜沼地区の9商店街のにぎわいは、鵜沼地区の活性化につながります。商店街や地域市民が連携して、魅力あふれる元気な商店街が多いまちをめざします。

成果指標

鵜沼の商店街が、魅力があると感じた人の割合



地域まちづくり活動

活動 10 商店街活性化の推進

【成果の視点】地域の商店街で消費がされていること

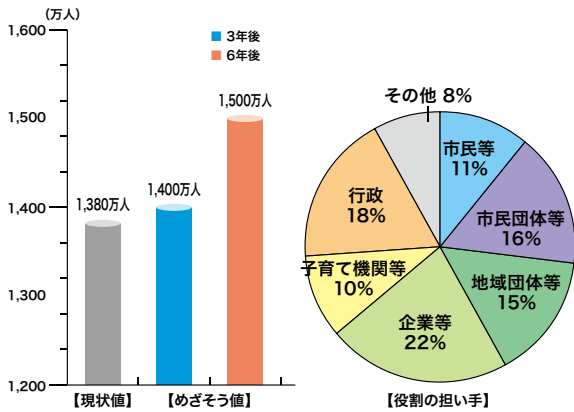
地域まちづくり目標 11.地産品があふれる元気な観光のまち

目標の背景・方向性

鵜沼海岸は、県下有数のビーチスポーツのメッカで、海水浴シーズンには、多くの観光客が訪れます。この地域資源を活かし、地産地消の推進と連携して、年間を通しての誘客に努め、元気な観光のまちをめざします。

成果指標

年間観光客数



地域まちづくり活動

活動 11 地産地消・観光の推進

【成果の視点】観光客が多くなっていること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

67. 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

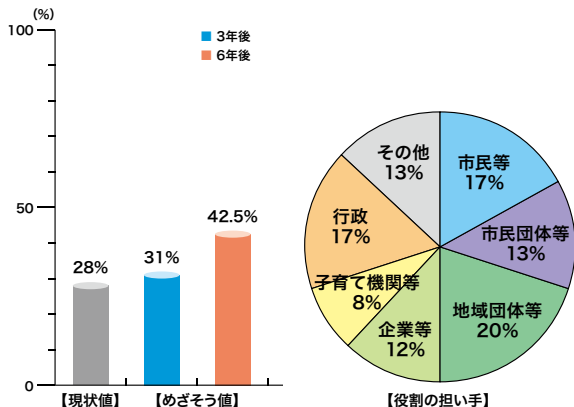
地域まちづくり目標 12. すべての人が安心して移動、利用できるまち

目標の背景・方向性

鵜沼地区の都市基盤整備の推進に向けて、関係機関、地域、市民が連携し、安心して移動、利用できるまちの実現をめざします。

成果指標

公共施設が使いやすいと感じた人の割合



地域まちづくり活動

活動 12 住民と協働したまちづくりの推進

【成果の視点】公共施設が住民の声を聞いて改善されていること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

73.活気があり、開放的で温かいまちであること

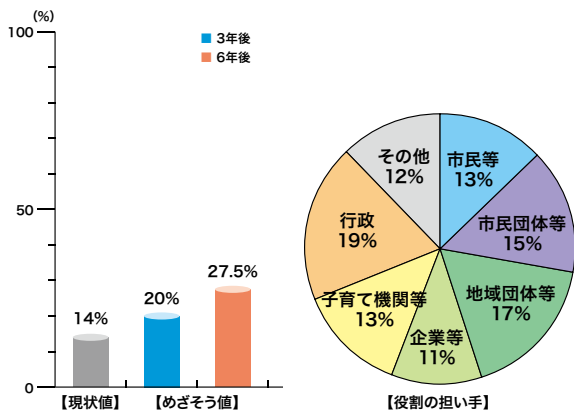
地域まちづくり目標 13. 鶴沼ライフスタイルと鶴沼カルチャーを発信するまち

目標の背景・方向性

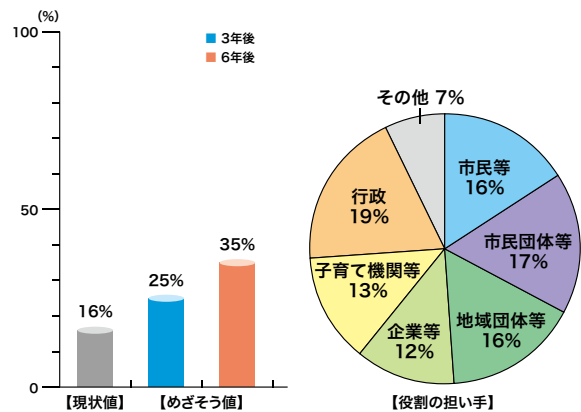
鶴沼の歴史と文化、魅力を市民団体等と連携して広く発信するまちをめざします。

成果指標

鶴沼の文化と魅力が広く知られていると感じている人の割合



鶴沼の歴史と魅力が広く知られていると感じている人の割合



地域まちづくり活動

活動 13 鶴沼情報発信の促進

【成果の視点】鶴沼ライフスタイルと鶴沼カルチャーが愛されていること



